

# 奄美ブランドの挑戦



奄美ブランドへの志向は、様々な産業で始まっています。  
伝統は守るだけでなく、積極的に挑戦し続けることかもしれません。



奄美群島でしか生産がされていない奄美黒糖焼酎は、一次仕込みに米麴を使用し、二次仕込みに黒糖を入れるのが特徴の蒸留酒です。黒糖の甘い香りで飲みやすく、糖分ゼロの本格焼酎は、今では女性にも人気。国内需要のほか、最近ではドイツを中心に欧州への売り込みが図られています。奄美市には、現在4工場がそれぞれの銘柄を生産しています。

Amami Brown Sugar Shochu Spirits, produced only in the Amami archipelago, is a distilled liquor that uses malted rice in the primary charge but features use of brown sugar in the second charge. In addition to demand within Japan, recent efforts to sell shochu spirits in Germany as well as other parts of Europe.

甘い香りで糖分ゼロの蒸留酒は、オンリーワンの楽園の味

## 奄美黒糖焼酎

Amami Brown Sugar Shochu Spirits

泥染と精巧な緋が生む絹織物

Authentic Oshima Tsumugi Pongee

## 本場奄美大島紬

奄美大島の美しい自然から生まれた天然手織りの本場奄美大島紬は、1300年余の歴史をもつ高級絹織物。そのアート性は類をみない精巧な緋織りと、泥染めにあるといわれています。およそ28工程もの工程を経てできあがる逸品は、着物のほか、近年は洋装や小物、インテリア製品にも応用されています。

Natural and hand-woven, authentic Oshima Tsumugi pongee is a high-quality silk fabric with over 1300 years of history. The artistic quality of the fabric is said to come from unprecedented delicate splashed pattern texture and mud-dyeing process.

“奄美布”のチャレンジ

（絹はじめ商事では、裂き織りという技法を使い、ヨコ糸に大島紬の裂地を使い織ることで、大島紬を新しい布（奄美布）に再生させ、大島紬の新たな可能性として注目されています。



様々な用途の生地が織れるよう、超広幅の織り機を設置



車輪梅の煮汁で20回染めた後、泥田で染める事を繰り返すと、しっとりしなやかな黒に染め上がる。



大島紬を活かしつつ、コートや小物などにも活用されている。

古典柄（龍郷柄）

伝統柄とガラスの融合



日本オリンピック委員会  
レスリングナショナルコーチ

### 栄 和人さん

（さかえ かずひと）

Kazuhito Sakae  
(National Wrestling Coach, Japanese Olympic Committee)

奄美大島出身。至学館大学教授・  
日本レスリング協会強化本部長

小さいときから、キビ作りの手伝いをしてきたので身体が鍛えられ、負けん気も人一倍強かったと思います。高校・大学とレスリングで世界を目指し、ソウルオリンピックにまで出場したのですが、次のオリンピックの代表になれなかった。引きこもりにもなったが、応援してくれた両親のために奮起したのが今につながっています。自分に負けた悔みさを知っているから、選手や生徒たちには常に妥協すると言っています。吉田沙保里、伊調千春選手などと日本の強さを世界に発信できたのは指導者冥利につきます。誰にでも試練が訪れると思いますが、好きなことに少しでも目標をもち、感謝の心を忘れずに頑張ることが大事だと思います。



歌手/  
ポニーキャニオンミュージック

### 城 南海さん

（きざき みなみ）

Kizuki Minami (Singer/Pony Canyon Music)

奄美大島出身。奄美独特のグインという歌唱法と澄んだ歌声で、音楽を中心に意欲的な活動を行っている。『THEカラオケ★バトル』で活躍中。

14歳で奄美を離れ鹿児島に移り住んでから、故郷の素晴らしさを知りました。そして、それまで知らずとしていなかった歴史や文化、シマ唄を先輩方から学び、感銘を受けました。奄美には、今では忘れられてしまった古き良き日本の姿、美しい言葉が沢山残っています。辛く苦しい時代を乗り越え、支えあってきた先人達が大切にしてきたもの、想いを受け継いでいくことが、いまを生きる私達にできることだと思っています。奄美の心を世界へ発信していけば、戦争などの争いや悲しいことは起こらないのではないのでしょうか。私はその想いを歌にして、自分なりに、奄美の素晴らしさをこれからも伝えていきたいと思っています。

# 奄美を発信する

Broadcasting Amami



横浜DeNAベイスターズ監督

### アレックス・ラミレスさん

Alex Ramirez  
(Coach, Yokohama DeNA Bay Stars Baseball Team)

ベネズエラ出身の元プロ野球選手。2013年、NPB通算2000本安打を達成し、名球会入り。ラミちゃんのお愛称で親しまれる。2016年から、同監督。

奄美は、とても美しく静かな環境で故郷のベネズエラとも似ています。豚肉や魚など食事も美味しく、三儀山の施設も含め集中できる環境にあることに感謝しつつ、徹底してトレーニングしています。奄美の少年たちも交流していますが、ベイスターズで活躍する子が出てくる事を願っています。また、奄美から、大勢の人が横浜DeNAベイスターズの試合観戦に来てくれていると聞いて、とてもうれしく思っています。私たちが奄美にいるときは、奄美の一員と思っているので、奄美の皆さんもチームの一員と思って、是非多くの人に観戦に足を運んでもらえればと願っています。



唄者

### 楠田 莉子さん

（くすだりこ）

Riko Kusuda (Shima Uta singer)

奄美大島出身。現在、奄美大島を代表する若手シマ唄者として注目を浴びる。大島高校2年生在学中

シマ唄が好きな家庭環境で育ち、6歳で本格的にシマ唄を習い始めました。ちょうど、元ちとせさんがデビューした年で、いつか自分も多くの人を感動させられる人になりたいと思ってシマ唄を勉強してきました。2010・2012年に全国民謡民謡大会に出場し、二度とも日本一を受賞。大島紬を着ると守られているという気がして、安心して歌う事ができます。2015の鹿児島県であった国民文化祭では皇太子ご夫妻の前でシマ唄を披露できました。また、昨年からはポップスで作曲・シンガーソングライターとしてCDも発売できました。今後はもっと自分や奄美のことを発信したいと思っています。



移住者支援サイト「ねりやかなや」運営

### 山腰真澄さん

東京都出身。経営コンサルタント

Masumi Yamakoshi  
(Manager, Island Immigrant Support Site)

奄美群島12市町村と連携し、移住者支援サイト「ねりやかなや」を運営しています。私も8年前に移住してきたので、その経験をふまえて、移住する前に知っておくべき情報（移住体験や不動産、仕事、行政支援情報など）を、移住・Uターンした方々のお話も伝えながら、興味をもってもらえればと思っています。奄美への関心は高まっていて、2008年の開設当時は年間1000人の利用者でしたが、現在はその15倍。東北の震災で放射能から逃れてきた方もいましたが、最近では、農業や地域おこしに興味がある人などが多くなっています。今後は、学校行事や地域のリアルな生活情報などを、詳しく提供していく予定です。

## 情報 Information



奄美群島地域ブログ「しーま」代表

### 深田小次郎さん

奄美大島出身。奄美グルメ情報・奄美群島女性誌・奄美不動産サイト運営  
Kojiro Fukuda  
(Manager, Amami Island Group Blog)

東京で働いていたころ、毎朝、故郷の奄美のことをネットで検索していました。携帯やスマホの進化で、島在住の人が発信する生の情報は、スピードや量も今までの旅情報より格段と勝ることに注目、兄とともに奄美のブログを集めたサイト「しーま」を立ち上げました。店の宣伝や日常のことなど内容は様々ですが、登録ブログ数は、現在約5000件。全体訪問者は40万人を超えるほどに成長。最近では、奄美のグルメ情報や子育て情報のフリーペーパーを発行したり、島紹介イベントも開催し、奄美の魅力を発信しています。今後は生活に沿った情報も流して、奄美を活性化していきたいです。